

## 神戸学院大社会人キャリアアップ講座から 介護保険改正を考える。

理事長 佐々木京子

社会人キャリアアップ講座は10月1日(月)開始の10回連続講座です。都市生活コミュニティセンター(あしすと・その他)からは募集人員30名中、なんと13名のメンバーが毎回仕事を終えて19時より参加しています。内容は備酒先生お得意、大胆極まりない考え方というべき異色の「地域ケア」論です。とにかく、この世界の既成概念や固定観念(先生の言うところの「思い込み」)を覆してやろうとする気魄に満ちています。そしてさらに「頭を切り換えるほどおもしろいことはないですよ。皆さんもやってみませんか」と毎回問いかけられること(「挑発される」の方がふさわしいかもしれません)は「地域ケアを見直す」です。しかし従来型の行政やらボランティアのかかわり論ではありません。この問いかけは、先生が自分自身の認識の変革過程を率直にさらけだし、受講者に追体験させるという手法で、まんまと先生のワナにはまっています。まず先生は地域リハのこれまでの「思い込み」は「入院中にピークまで持っていたADLが、自宅へ帰るとどんどん低下する」だったと示され、これまでの「地域ケア論」の本質は要するに家族支援であり、それを(家族ができてくれないことを)ケチケチと行政がしきる「福祉」が手助けするで

した。しかし介護保険導入後、状況が一変しました。自宅へ復帰後もADLが改善する例が急増しているのです。それは家族介護一辺倒だった在宅生活の世界に、各種プロフェッショナルの技術がどしどし入るようになったからです。先生の原体験である十把一絡げの「お年寄り」扱いから「力強い」「個性」ある個人へというケアの対象者についての認識の転換を、様々な実例により紹介していただき、受講者も成る程と納得していきます。問いかけの本質は、実は「高齢者観の見直し」でありケアサービスに関わる人々個々の仕事を総称して「地域ケア」と規定し、そのような人々の、高齢者に対する「価値観の見直し」にあります。「高齢者観」を考え直し「地域ケア」「地域リハ」「自立支援」について真剣に取り組む私たちにとって格好の啓発になっています。4月の介護保険改正から、サービス内容を制限されることが多く、介護が後退しています。私たちは利用者の立場に立って、今回の改正が決して高齢者や障害者のための見直しになっていないことを、現場の事例を提示し国や自治体に強く主張していく必要があります。



講師の備酒伸彦氏



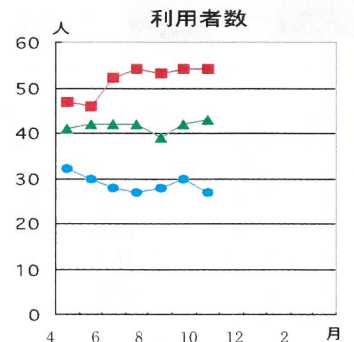
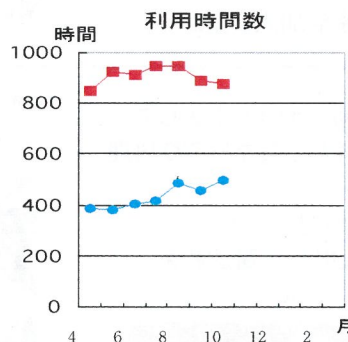
た」と示され、これまでの「地域ケア論」の本質は要するに家族支援であり、それを(家族ができてくれないことを)ケチケチと行政がしきる「福祉」が手助けするで

◆講師:備酒 伸彦氏  
神戸学院大学総合リハビリテーション学部  
医療リハビリテーション学科准教授

## 2007年度☆介護保険事業報告

- ★あ・し・す・と (垂水)
- ★あしすと武庫之荘 (尼崎)
- 現在、2つの事業所を拠点に都市生活組合員が中心となってヘルパー派遣事業を行っています。
- 武庫之荘では居宅介護支援事業(ケアプラン)、障害福祉サービス事業も行っています。

●垂水  
■武庫之荘  
▲居宅介護支援



介護無料相談 (月～金/9:30～17:00)  
都市生活ヘルパーステーション あしすと武庫之荘

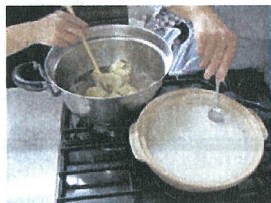
☎ 06-6433-8487

介護無料相談 (火曜/13:30～17:00)  
都市生活ヘルパーステーション あ・し・す・と

☎ 078-755-1455



## 事例検討 ミキサー食の調理



あ・し・す・と(垂水)管理者 廣瀬久美子

月に1回行う会議では毎回テーマを決めて事例検討をしています。9月は「ミキサー食」です。現在要介護5の利用者様の援助に入って「ミキサー食」を作っているヘルパーさん達を中心となり「肉じゃが・ホウレン草のおひたし・お粥」を調理実習してもらい他の会議参加メンバーと共に試食し感想を話し合いました。現在行っている「ミキサー食」の調理の援助ですが、初日の援助の時に肉じゃがをそのままミキサーにかけたものを試していただきましたが、刻み食程度にしかならず、嚥下が困難だったため、作り方を変更。事前にすり鉢で搗ると目の細かいトロトロの介護食を作る事ができました。お粥は土鍋で1時間かけて弱火で煮込みます。水を足しながら底が焦げ付かないようにかき混ぜながらじっくりと煮込みます。そうすると米が透明で口の中でとろける様なお粥が出来上がります。すり鉢使用で体力が必要となります。肉じゃがは具材別に搗ります。肉等はツナかと思うくらいになります。私達も全てを口に放り込んだりしませんよね？ジャガイモにはジャガイモの、人参には人参の風味があるのです。全てを一緒に搗るのは見た目も味も違います。私達は全ての利用者様に愛情こめた援助をしているつもりです。その為に事例検討をしスキルアップに努めています。

## しのめ健康フェスタ

(ろっこう医療生協主催)

すまいる代表 岡部眞紀子

【健康づくり】関連の体験コーナーで蛍光増白剤の怖さを伝える。  
1人生協都市生活加入に繋がる!!



## すぶりっつ

理事 池田啓一

10月20日、西宮市役所前で恒例のイベント「しのみや・すぶりっつ」が開催されました。市内のたくさんの非営利団体が集うにぎやかなお祭りです。

都市生活コミュニティセンターは兵庫県の「フェニックス共済(兵庫県住宅再建共済制度)」を紹介するブースを出展しました。

都市生活コミュニティセンターは、一昨年度よりフェニックス共済の推進委員団体として普及に取り組んできました。そうした経緯もあって、すぶりっつには県の担当職員にも参加していただき、一緒になってチラシを配布し、いざというときのわが家の安全・安心のために、「小さな負担(年5千円)で、大きな安心(住宅の再建に最大600万円)を確保しましょう」と呼びかけました。

さらに、障害者支援活動として、小規模作業所に適した新しい商品開発のプロジェクトから生まれた「えとふうせん」の販売もあわせて行い、障害者の作業所支援にも、ささやかながら協力しました。フェニックス共済の宣伝用の風船にはたくさんの子どもたちが集まり、えとふうせんを興味深そうにながめていました。おとな、こども、障がい者市民が普段から支え合うことによって、災害にもまけない強いきずなをつくるのが大切だと実感した一日でした。



## 介護相談 ・ 喫茶

(あいたくて都市生活にて)

あしすと武庫之荘居宅支援事業所  
管理者 ・ ケアマネージャー  
落合久恵



今年も「あいたくて」で、あしすと武庫之荘のケアマネが介護相談窓口を担当させていただきました。今回は、以前に担当させていただいた方のご家族が、顔を見せて下さり、その後の様子をお聞きする事もできました。また、毎年恒例のコーヒーと紅茶の店も準備した予定数を早々と完売。一年に一度の「お祭り」気分、ワイワイ楽しんだ一日でした。

## 料理 研修

あしすと武庫之荘で毎月1回行っている研修の報告です

14回目 高齢者にも食べやすく工夫して、季節を味わう茸たっぷり料理

- かやくご飯
- 肉じゃが
- 鯖とうふ
- 吸物
- なます
- 大根辛子醤油和え
- うさぎりんご



それぞれアイデア

と工夫を活かせるよう、今後も励んでいきます。

あしすと武庫之荘 水崎佳子



## ・・・インフォメーション・・・

都市生活コミュニティセンターでは、「どうぶつおりがみ」



を販売しています。  
種類は <えとふうせん>  
<サバンのなかま>  
<クウノトリ>  
<中国えと>の4種類。  
価格は1セット300円です。

このおりがみは、障害者の小規模作業所での新しい商品づくりへの発想からできたものです。神戸芸術工科大学大田研究室(大田尚作教授+黒田哲平さん)でデザインを考え、印刷し、神戸や豊岡作業所の仲間が連携してつくりあげました。